

事業名	地域情報通信基盤管理運営事業	総事業費	55,186	千円
-----	----------------	------	--------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図		安定的な通信の確保、機器の正常な運用。
事業の実績 と成果	取組内容	光ブロードバンド設備、地域イントラネット設備の維持管理を行うとともに、新規加入者受付、回線の撤去、移設工事、IRU使用料の請求処理、補助金の申請等処理、民間移譲の準備事務を行った。
	成 果	安定的な通信の確保、機器の正常な運用を実現できた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	社会情勢の影響により、契約者数が増加し、事務量が増加しているため、事務の効率化を図る必要がある。また、経年劣化により通信機器の老朽化が危ぶまれるため、維持管理の面からも、民間と施設維持について話し合いを行っていく。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	馬毛島の工事関係で回線申込が増加する中、安定運用ができています。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	工事関係者の移住に伴い、工事申込件数も増えている。丁寧な説明を行い、工事業者との連絡を密にとり、トラブル等にならないよう気をつける。老朽化するウェブカメラの管理を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	住宅環境整備事業	総事業費	3,709	千円
-----	----------	------	-------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な居住環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図		住環境の向上及び市内業者の振興を図るため、住宅の耐震診断・耐震改修工事、リフォーム工事を促進する。
事業の実績 と成果	取組内容	広報等による事業の周知を行い、補助事業を実施した。
	成 果	住宅リフォーム工事に対する補助件数は29件で3,709千円の補助を行ったことにより、住環境の向上に貢献している。 耐震診断、耐震工事については、申請がなかった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	耐震診断及び耐震工事については、利用者がいない状況の為、耐震診断への関心があるのか調査を行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	居住環境の向上が図られるとともに、地元企業における経済効果も期待できる。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	耐震診断や耐震改修が利用されていない状況であり、耐震への関心度や利用希望等の調査を行い事業利用を促す。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	市営住宅改修事業	総事業費	46,569 千円
-----	----------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	西之表市公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅の個別改善等を行うことで住環境の向上を図り、適切なストックマネジメントの推進を目指す。	
事業の実績 と成果	取組内容	桜が丘団地4号棟（1棟12戸）及び附帯施設（ポンプ室、ガス庫、自転車置場等）の外壁等改修工事（ひび割れ補修、塗装、屋上防水等）を行った。 桜が丘団地木造住宅（6棟6戸）の既設汲み取り式トイレを水洗トイレに改修する工事（合併浄化槽設置、内装・外構工事、換気扇・照明取替等）を行った。
	成 果	対象の住棟及び住戸の機能性向上による長寿命化が図られた他、居住水準の向上で入居者の満足度に対する貢献が期待される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事業実施は、西之表市公営住宅等長寿命化計画に基づいたものであるが、計画の内容や投入可能な財源に対して、改修が必要な住宅が多い。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	平成30年度から令和4年度までの5か年で実施された桜が丘団地の改修事業（1号棟～4号棟外壁等改修、共同汚水処理施設改修）の最終年次の取組が計画通りに完了した。 引き続き、長寿命化計画及び上位計画との整合を図りながら、事業の適切な実施に努める。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	西之表市公営住宅等長寿命化計画における予定事業の実施と併せて、老朽化の現状把握や危険箇所の認識等にも努める。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	(写真) 桜が丘団地4号棟外壁等改修工事 「着工前」・「完成」

事業名	市営住宅解体事業
-----	----------

総事業費	1,914 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図			老朽化に伴い政策空家になっている危険性のある住宅を解体し周辺環境の向上を図る。
事業の実績 と成果	取組内容	市営中谷団地内で用途廃止済の木造平屋住宅（2棟2戸）の解体工事を行った。	
	成 果	老朽化により供給不可能としている住宅のうち、危険性の面からも解体を必要としていた住戸が解体・撤去され、適切なストック管理が図られた。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	解体を含む市営住宅のストック管理は、西之表市公営住宅等長寿命化計画に位置付けられる必要があるが、これには住宅の老朽化現状や財源確保等の視点も考慮し、総合的に検討・判断しなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	対象住戸の解体は、周辺住民への配慮や跡地の整備等の面でも適切に行われた。 今後は、対象財産の活用方法について、普通財産所管課（財産監理課）との協議等を行い、方向性を定めた取組を進める。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	当該年度は事業休止。 ※令和5年度（2023年度）に解体を要する市営住宅がないため。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	解体工事「着工前（左）」「完成（右）」

事業名	公営住宅等整備事業（市営住宅整備事業）
-----	---------------------

総事業費	19,562 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	榕城校区内の老朽化が顕著な市営住宅を鴨女町（城之浜A）団地へ集約建替し、居住水準及び住環境の向上を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	鴨女町団地建替基本計画（令和3年度策定）の事業スケジュールに基づく令和4年度事業として、「建替団地基本設計」、「第1工区解体設計」、「敷地測量」、「地質調査」に関する各種業務委託を行ったほか、集約・建替え対象者への集合説明及び個別説明等を実施した。
	成 果	対象者の9割以上への説明及び同意取得を終え、各種業務委託の成果内容と併せて、2年目（令和5年度）以降の事業に活用できるものとしている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	建替基本計画に基づいて行う各年次の事業は、内容や事業費等の規模も大きいため、適切かつ慎重に進める必要がある。 特に、集約事業として令和5年度に行う最初の移転（第1段階仮移転）は、12世帯が他の市営住宅等へ引っ越しを行うことから、各対象者への細やかな対応が求められる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	令和4年度予定事業の各種業務委託については、いずれも概ね適切に完了しているが、基本設計内容において、継続検討必要性が明らかになったもの（開発許可手続きの具体的な進め方、建設費高騰対策等）も見られた。 また、同年度中に行った対象者への説明については、個別説明に基づく同意の取得を9割以上で済ませているが、残りの数名に対しても引き続き説明機会を確保し、全対象者の理解と移転対応方向性の確認等を進める。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	建替基本計画に基づく事業スケジュール（6か年）における2年目事業を計画的に進める。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	(写真) 鴨女町団地建替説明会 「全体説明」・「個別対応」

事業名	都市下水路長寿命化対策事業
-----	---------------

総事業費	4,845 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	事故の未然防止及び老朽化した下水路の長寿命化を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	改修事業のために計画降雨強度や流出係数を始めとした基本事項を検討する業務を委託した。
	成 果	計画降雨強度や流出係数の確認をはじめ、断面やルートを検証、概算事業費の算出を行い、事業の全体像を把握することができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事業の全体像を把握することはできたが、事業を進めるに当たり財源の確保や実施体制の構築などが課題である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	事業規模が大きく財源の問題もあることから、今後の計画を精査する必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	国庫補助事業の要望を提出する予定としている。(下水道ストックマネジメント計画策定支援事業 国費40%)
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明